

資料2別紙

地区ごとの保育園配置の考え方

第4章の課題の解決方法を実現するために、地区ごとに施設配置についての将来の姿を考えていきたいと思います。

配置の検討にあたっては、

- ・ 一人ひとりの子どものきめ細やかな保育の実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保證できる保育園の規模(概ね80人～130人程度)を確保できること
- ・ 将来の施設の更新の際には、園庭を含め適切な敷地面積が確保され、移設が伴う場合は用地選定の困難さがないこと
- ・ 各施設の入園状況の傾向や地域の特性

などの要素を考慮に入れ、適正な配置案を施設の統廃合も含めて総合的に考えていくこととします。